

第七十四回 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ  
帝國議會 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案 特別委員會議事速記録第十五號  
貴族院

付託議案(追加)

昭和十三年法律第六十四號中改正法律案  
朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度  
ノ臨時擴張ニ關スル法律案

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案  
昭和十二年法律第八十四號中改正法律案  
昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツ  
ル爲公債追加發行ニ關スル法律案

昭和七年法律第一號中改正法律案

支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付ス  
ル爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十三年法律第八十七號中改正法律案  
昭和十四年三月十七日(金曜日)午前十一  
時三分開會

○委員長(子爵高橋是實) 會議ヲ開キマ  
ス、過日藤原委員ヨリノ御質問ガ保留シテ  
殘ッテ居リマシテ、過日ノ御質問ニ對スル御  
答辯ガ政府當局カラゴザイマスカラ、ソレ  
ヲ先ヅ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作) 先日藤原委員カ  
ラ、貯蓄債券ノ發行ニ際シマシテ、郵便局  
ガドウ云フ手數料ヲ受取ルカト云フ意味ノ  
御質問ガアリマシテ、其ノ際ニ於テ政府ノ  
方デ答辯ヲ保留致シテ居ッタデアリマス

ガ、ソレニ付テ御答へ申上ゲタイト思ヒマ  
ス、今回ノ臨時資金調整法ニ依ッテ發行致ス  
ヤウニナリマシテカラノ貯蓄債券ニ付キマ  
シテハ、額面十五圓券一通ニ付キマシテ十  
三錢支拂ッテ居リマス、ソレカラ其ノ半分ノ  
七圓五十錢券、即チ賣出價格五圓ノモノデア  
リマスガ、之ニ對シマシテハ一通ニ付テ八  
錢ヅツ郵便局ヘ支拂ッテ居リマス、右御答へ  
申上ゲマス

○藤原銀次郎君 此ノ臨時資金調整法ニ依  
リマシテ、今後五萬圓以上ノ改良擴張工事  
ハ全部政府ノ許可ヲ要スルト云フコトニナ  
リマシテ、之ガ爲會社ノミナラズ個人モ亦  
同様ノ制限ヲ受ケルコトニナリマシタガ、  
サウ致シマスルト、政府ニ此ノ許可ヲ申請  
スル件數ト云フモノハ非常ニ莫大ナ數ニ上  
ルコトト思ヒマス、サウシテ此ノ改良擴張  
工事ト云フヤウナモノモ全部政府ガ御審査  
ニナッテ、其ノ許可ヲ決定スルト云フコトニ  
ナルデアリマスカラ、政府ノ方ニ於テモ  
非常ナ手數ガ御掛カリニナルト思ヒマス、  
ソレニ付テハ普通ノ事務官バカリデハ御判  
斷ノ出來ナイヤウナ技術上ノ問題ナドガ澤  
山ニ起ッテ來ル、工場ノ擴張、改良工事ナド

ハ總テ技術的ノ問題ガ大半ヲ占メタルデア  
リマスカラ、サウ云フコトニナリマス、ト、  
政府ノ方ニ於カレマシテモ、十分ナ御準備  
ガアッテ、其ノ機構ヲ御作リニナッテ、斯ウ  
云フモノニ對シテノ審査機關ト云フヤウナ  
モノヲ御作リニナッテ、ソレヲ御取扱ニナル  
ト云フコトニナラナイト、今ノ政府ノ機關  
其ノ儘デソレヲ御扱ヒニナタツトスレバ、非  
常ナ事務ノ澁滞ヲ來スト云フヤウナコトニ  
ナッテ、一般ノ營業者ハ非常ナ困難ニ陥ルト  
云フコトニナリハシナイカト云フコトヲ我  
我ハ虞レルノデアリマス、就キマシテハ政  
府ノ方ニ於カレマシテ、此ノ臨時資金調整法  
御施行ニ對シテハドウ云フ風ナ御準備デオ  
進ミニナッテ居リマス、又政府ノ機構モ何  
レ之ニ應ジテ擴張ト申シマス、整備ト申シマ  
スカ、色々御準備ガオアリニナルト思ヒマ  
スガ、其ノ詳細ナ内情……斯ウ云フ工合ニ  
シテ之ヲ處理スル積リダト云フヤウナ内情  
ヲ此ノ際承リタイ

○政府委員(入間野武雄) 御承知ノ通り  
此ノ臨時資金調整法ハ物資及資金ヲ不急不  
要ノ方面ニ使ヒマスルコトヲ避ケ、之ヲ緊急  
必要ナル方面ニ使フコトヲ主眼トシテ制定  
サレタ法律デゴザイマス、從ヒマシテ此ノ  
法律ヲ施行スルニ當リマシテハ、如何ナル  
事業ノ新設、擴張、改良等ヲ認ムベキカト  
云フ問題ニ關シマシテ研究ノ結果、臨時資金  
調整法ニ基キマスル所ノ事業資金ノ調整標  
準ト云フモノヲ作ッテ居リマス、御手許ニ差  
上ゲテアリマス臨時資金調整法令ト云フ印  
刷物ノ中ニ、事業資金調整標準ト云フモノ  
ガアリマシテ、此ノ標準ニ依リマシテ甲  
乙丙ト分ケテ、甲ヲ重ク見、丙ノヤウ  
ナ事業ニ付キマシテハ成ルベク擴張、改  
良、新設等ヲ避ケルヤウニヤッテ居リマ  
スノデ、此ノ標準ニ當嵌メテ事ヲ處斷シ  
テ行クヤウナ建前ニ相成ッテ居リマス、  
而シテ其ノ仕事ハ臨時資金調整法第五條ノ  
規定ニ依リマシテ日本銀行ヲシテ取扱ハシ  
メルト云フコトニ致シテ居リマシテ、日本  
銀行ノ方デ斯フ云フ認許可ノ仕事ヲ致シテ  
居リマスヤウナ次第デゴザイマス、但シ事  
案ノ重要ナルモノニ付キマシテハ、臨時資  
金審査委員會ノ議ヲ經テ之ヲ行フト云フコ  
トニ致シテ居リマスルノデ、過般モ御説明  
致シマシタヤウニ、毎週一回ヅツ臨時資金  
審査委員會ヲ開キマシテ、事ヲ決定致シテ

居リマス、從ヒマシテ今回仕事ノ量ハ殖エテ參リマセウケレドモ、大體從來ノ標準、從來ノ基準ニ從ツテ之ヲ捌イテ行キマスレバ、左迄困難ナコトモナカラウカト考ヘテ居リマスル次第ゴザイマス

○政府委員(相田岩夫君) チョット私カラ今銀行局長カラ申上ゲラレタ通りデアリマスガ、計數ニ付キマシテ御參考迄ニ申上ゲテ置キマス、現在ノ第四條第二項第二號ニ依リマシテ資本金二十萬圓以上ノ會社ガ自己資金ニ依ッテ致シマスル事業設備ノ新設、擴張、改良ニ關スル許可申請ノ件數ハ、昨年中約八百件ゴザイマシタ、金額ニ致シマシテ約六億六千萬圓ゴザイマスガ、此ノ中五百六十餘件、金額ニ致シマシテ約三億圓ハ只今銀行局長カラ説明申上ゲマシタ臨時資金審査委員會ニ付議セズニ、日本銀行限リデ處理セラレテ居ルノデゴザイマス、又金融機關ノ事業資金ノ貸付先ニ付テ見マシテモ、二十萬圓以上ノ會社ガ金額ニ於キマシテハ大部分ヲ占メテ居リ、件數ニ致シマシテモ半分以上ヲ占メテ居ル點カラ考ヘマシテ、此ノ度ノ改正ニ依ッテ適用サレル相手方ガ殖エルノデハアリマスルガ、其ノ爲ニ此ノ取扱ノ件數或ハ金額ガ處理ニ困難ヲ感ジテ、事務ノ澁滞ヲ來スト云フ程ノコトハ恐

ラクナカラウト云フ風ニ想像致シテ居ル次第ゴザイマス、ソレカラ事業設備ノ新設、擴張、改良ニ付キマシテモ、此ノ改正案ノ第四條ノ二ニアリマスルヤウニ、金融機關カラノ借入金ニ依ル場合、或ハ他人ヲシテ引受又ハ募集ノ取扱ヲ爲サシメタル社債ノ

收入金、或ハ本法ニ依リマシテ設立又ハ資本増加ニ付テ認可ヲ受ケタ場合ノ會社ノ第一回ノ拂込株金、或ハ出資金、或ハ又本法ニ依リマシテ拂込ニ付キマシテ許可ヲ受ケマシタ株金ノ拂込株金デアリマスツカ、募集ニ付テ許可又ハ認可ヲ受ケマシタ社債ノ收入金ト云フモノデ、此ノ事業設備ノ新設、擴張、改良ヲ致シマスル場合ニハ、更ニ此ノ事業設備ノ點ニ付テ、改メテ許可ヲ受ケルト云フ必要ハナイノデゴザイマス、其ノコトモ念ノ爲ニ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○藤原銀次郎君 只今銀行局長ノ御説明ノ通りデアリマシテ、大體ニ於テ國家非常時ニ際シテ、國家トシテ最モ急用ヲ要スル方面ニ物資ヲ向ケテ、他ノ方面ニ物資ノ流レテ行クコトヲ防止スルト云フコトガ此ノ資金調整法ノ大體ノ御趣旨デアリマスルコトモ能ク了承致シテ居リマスシ、又ソレガ今日ノ急務デアルト云フコトモ能ク分ッテ居リマスシ、我々ハソレガ今日ノ時局ニ於テ

必要ナル施設デアルト云フコトモ能ク了承シテ居リマス、ソレカラ又新シク事業ヲ起シテ行ク、ソレカラ新シク増資ヲシタリ、新シク大擴張ヲシテ行クタリスルト云フヤウナ場合ニ於テハ、政府ノ方ニ於テ一定ノ標準ヲ御決メニナッテ其ノ標準ノ「スケール」ニ當嵌メテ、サウシテハ第一類デアアル、

ハ第二類デアアル、是ハ第三類デアアルト云フコトニシテ、サウシテ其ノ御許可ニナルカ、或ハ不許可ニナルカト云フコトヲ御決定ニナルト云フコトハ比較的容易デアラウト思ヒマス、此ノ標準ノ表ヲ作ツテ置イテ、ソレニ當嵌メテ、其ノ會社ハ許ス、此ノ會社ハ許サス、此ノ會社ノ増資ハ許可ヲシナイ、此ノ會社ノ配當ハ許可ヲシナイカト云フヤウナコトニズツ斯ウ爲サッテ行クコトハ比較的容易ニ出來ルト思ヒマス、唯私ガ只今質問致シマシタノハサウ云フ大體ノコトハ極ク簡易ニ出來マスガ、五萬圓以上ト云フト非常ニ小サイ金額ニナリマシテ、例ヘバ或會社デ以テ機械ガ破損シタカラト云ツテ此ノ機械ヲ修理シタイ、同時ニドウセ修理スルナラバ、モウ少シ能率ヲ良クシテ、即チ單ナル修理デナクシテ少シ能率ヲ擧ゲルヤウニ修理ヲシタイ、即チ改良擴張ノ工事ト云フコトニナリマス、若干ノ改良ヲ加

ヘテ能率ヲ良クシタイト云フヤウナコトヲ考ヘルト、直ニ五萬圓ヤ十萬圓ハ今日ノコトデスカラ掛リマス、其ノ時ニ資金調整局ヘ出頭シテ行クト云フ、只今ノ御説デハ日本銀行ヘ出願スルノガラウト思ヒマスガ、日本銀行ニ出願シテ、日本銀行ニ於テハ其ノ

工事ガ果シテ許可スベキモノデアルカ、許可スベカラザルモノデアルカト云フノニハ、其ノ技術上ノ檢討ヲシテ、サウシテ是ダケノ金ヲ掛ケテ、是ダケノ物資ヲ使ッテ、サウシテ之ヲ改良スレバソレダケノ能率ガ擧ガル、サウスレバ今日ノ國家ノ大勢ニ於テ是ガ必要ナモノデアルト思フカラ許可スベキモノデアアル、物資ヲ使フコトハ極僅デアリマスケレドモ、能率ヲ擧ゲテ、サウシテ國家ノ産業ノ上ニ利益デアルカラ是ハ許可スベキモノデアアル、或ハ許可スベカラザルモノデアルト云フコトニナルト、チョット今ノ御説明ノヤウナ組織デハ、サウ云フ審査ガ少シ難カシクハナイカト斯ウ思フ、ハ一例デアリマスガ、十萬圓ヤ二十萬圓、百萬圓トカ五十萬圓トカ云フヤウナ、サウ云フ改良ノ工事ハ各産業會社ノ内情ニ於キマシテハ殆ド無數ニアルヤウニ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ實際問題トシテハサウ簡單ニ是ガ行カナイデヤナイカト思フノデ

アリマスガ、我々ニモウ少シ能ク了解ノ出  
來マスヤウニ、之ヲ實際問題トシテ御説明  
ヲ願ヘレバ仕合セト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 藤原委員ノ御  
懸念ノ點ハ御尤デアルト存ジマスガ、併シ  
ナガラ大體事業ノ種類ニ依リマシテ認許可  
ノ方針ヲ定メテ居リマス、之ヲ譬ヘテ申シ  
マスルナラバ、金屬工業デ、非鐵金屬製鍊業  
デ銅ノ製鍊ヲスル、斯ウナリマスレバ是ハ  
甲ノ「イ」ニ屬シマスカラ、大體許ス方針デ居  
リマスガ、併シナガラ又他面料理屋デアル  
トカ、貸座敷デアルトカ云フモノガ新タニ  
家ヲ建テタイト言ッテ來マスレバ、是ハ標  
準ニ當嵌メマシテ丙ニ屬シテ居リマスルノ  
デ、許サレナイト云フコトニ致シテ居リマ  
ス、從ヒマシテ大體其ノ申出テ來マシタ  
所ノ業態ニ依リマシテ之ヲ決定スル考デア  
リマスルノデ、ソレニ依リマシテドレダケノ  
能力ガ上ルカドウカト云フヤウナ點ハ、先  
ヅサウ十分審査シナクテモ其ノ仕事ガ只今  
ノ國家ノ情勢ニ於テ必要缺クベカラザルモ  
ノデアルカドウカト云フコトヲ見マシテ、  
ソレニ依ッテ許シテ行ク方針ニ致シテ居リ  
マス、又件數ニ致シマシテモ先程相田政府  
委員カラ申上ゲマシタヤウニ、殖エテハ參  
リマスガ、サウ澤山デハナカラウト、斯ウ

考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤原銀次郎君 只今ノ御説ハ能ク分リマ  
シタガ、是ハ私ノミナラズ、民間ノ方ノ實  
際ノ産業ニ從事シテ居ル者ニ取リマシテハ  
非常ニ重大ナ問題デアリマシテ、皆心配シ  
テ居ルト思ヒマスカラ、誠ニ諄イヤウナコ  
トデ恐縮デアリマスケレドモ、モウ少シ詳  
細ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此ノ軍事工  
業トカ、若シクハ金屬工業トカ、軍事工業  
ニ對スル材料ヲ供給スル事業トカ云フヤウ  
ナ、國家ノ最大急務トスル所ノ事業ニ關係  
シタ仕事ニ對シテハ御許可ニナル御方針デ  
アルト云フコトハ、是ハ能ク明瞭デアリマ  
スカラ、此ノ點ニ付テハ問題ハナカラウ  
ト思ヒマスガ、唯問題トシテ皆心配致シマ  
スノハ平和産業デアリマス、平和産業ニ從  
事シテ居ルモノモ今日ナカク其ノ數ガ多  
イノデアリマスカラ、此ノ平和産業ノ方モ  
日進月歩デアリマスカラシテ、日々改良、  
日々進歩シテ行ッテ居ルノデアリマシテ、  
チョット上ノ方カラ御覽ニナレバ、平和産  
業ハ此ノ儘ズツ續イテ行ッテ何モシナイデ  
モ宜イノデアルト云フヤウニ御考ニナルカ  
モ知レナイケレドモ、實際ハ絶エズ改良進  
歩シツ、アルノデアリマシテ、ソレニハ矢  
張り修理トカ云フヤウナ場合ニ於テ改良シ

テハ或ハ更ニ又修理ノ時ニ改良シテ漸次改  
良ニ改良ヲ加ヘテ、日々改良進歩シツ、ア  
ルノガ平和産業ノ今日ノ現狀デアリマス、  
斯ウ云フ平和産業ノ數モ非常ニ多イシ、資  
本金モ非常ニ多イノデアリマスガ、斯ウ云  
フ平和産業ノ方カラ色々改良擴張工事ニ付  
テ出願致シマシタ場合ニハドウ云フ風ニナ  
リマスノデゴザイマセウカ

○政府委員(入間野武雄君) 大體認可許可  
ノ標準ハ軍事トノ關係、國際收支改善ノ關係、  
現在ノ生産能力其ノ他ノ事情ニ鑑ミマシテ、  
甲、乙、丙ト決メマシテ、ソレニ依ッテソレ  
ゾレ定メテ居ルノデアリマスルガ、只今大  
體平和産業ニ付キマシテモ、此ノ工場ナド  
ノ安全及保健上ノ見地カラ必要ナル改良、  
災害ニ依リ設備ノ復舊ナドニ付キマシテハ  
特別ノ取扱ヲ致スコトニ相成ッテ居ルノデ  
アリマス、從ヒマシテ斯ウ云フ種類ノモノ  
ニ付キマシテハ、假令其ノ標準ガ低クアリ  
マシテモ、或程度迄ハ認メマス、尙又生産  
能力ノ上カラ見マシテ操短ナドヲヤッテ居  
リマス所デ、其ノ改良ヲスルト云フヤウナ  
場合ニ於キマシテハ、先ヅ其ノ方面ハ擴張シ  
ナクテモ宜イデヤナイカト云フヤウナ心持ヲ  
持ッテ、大體サウ云フモノニ付キマシテハ許シ  
テ居リマセヌヤウナ只今ノ現狀デアリマス

○藤原銀次郎君 今度ハ譬ヘバデ、此處ヘ  
例ヲ舉ゲマシテ御尋ヲ致シマシタ方ガ了解  
ガ早イト思ヒマスノデ、其ノ御許ヲ得テ申  
シテ見タイト思ヒマス、製紙工業トカ、マ  
ア私ガ一番關係ヲシテ居リマスカラ一番密  
接ナ、能ク分ッテ居リマスガ、此ノ製紙工業  
トカ或ハ「バルブ」トカ云フヤウナ工場デ「バル  
ブ」ノ設備ヲ改良シタイト云フ場合ニ、三十萬  
圓カ、ルトカ、五十萬圓カ、ルトカ云フヤウ  
ナ場合ハドノ種類ニナリマスカ、製紙ノ改  
良ヲスル場合ニ、製紙ノ機械ガ痛シダカラ  
之ヲ改良シタイ、此ノ場合ニ多少能率ノ上  
ガルヤウナ機械デ、生産原價ヲ安クスレバ、  
能率ガ好クナルヤウナ改良工事ヲ施シタイ  
ト云フノデ、五十萬圓ノ改良工事ノ申請ヲ  
シタ、斯ウ云フ場合ハドレニ入リマセウカ、  
又「バルブ」工場ノ「バルブ」ノ釜ノ設備ヲ變  
ヘタイ、之ニ對シテ百萬圓カ、ル、或ハ五  
十萬圓カ、ルト云フヤウナ場合ニ申請ヲシ  
タト云フ時ニハドノ方ニ入リマセウカ、サ  
ウシテソレハ御許可ニナリマセウカ、ナリ  
マセヌカ

○政府委員(入間野武雄君) 只今御示ノ  
「バルブ」製造業ハ標準ニ於キマシテハ乙ノ  
「イ」ニ相成ッテ居リマス、而シテ此ノ乙ノ「イ」  
ニ屬シマスルモノニ關シマシテハ、金融機關

カラノ貸付ニ依ッテ設備等ヲスル場合ニハ一件ノ金額三十萬圓ヲ超エナイ場合ニ於キマシテハ、大體甲ノロニ準ジテ取扱ッテ差支ナイ、一件ノ金額三十萬圓ヲ超エマス場合ハ日本銀行ノ本店ナリ支店ナリニ協議シテ貸付ヲスルコトニナッテ居リマス、從ヒマシテ三十萬圓以下ノ工事デアリマスレバ、金融機關ハソレニ金ヲ貸シテヤラセテモ宜イ、金融機關ハ此ノ判斷ニ基イテ貸シタモノニ付テ、其ノ事業會社ガ三十萬圓以下ノ金ヲ借りテ新設擴張ヲスル場合ニハ認可許可ハ別ニ要ラナイコトニナッテ居リマス、一々具體的ノ場合ニ付キマシテノ御説明ハ是ハ至難デアリマスケレドモ、「バルプ」事業ニ付キマシテハ、大體只今ノ所サウ云フ取扱ヲシテ居リマス

○藤原銀次郎君 紡績會社ナドニ付テハ如何デアリマセウカ、ドウモ大變御手数數デ恐縮デアリマス

○政府委員(人間野武雄君) 紡績會社ニ付キマシテハ大體ノ分類ガ丙ニナッテ居リマスノデ、其ノ改良擴張等ニ付キマシテハ、現在ノ所認メテ居リマセヌ、唯是ガ輸出ヲ非常ニスル爲ニ必要デアル場合ニハ外貨資金獲得ノ上カラ見テ斯クノ如キモノハ便宜ノ取扱ハ致シテ居リマスケレドモ、内地消費

ニ當テル爲ニサウ云フコトヲ致シマスルモノニ付キマシテハ大體認メナイ方針デ居リマス

○中村圓一郎君 チョット只今ノ藤原委員ノ質問ニ關聯シテ簡單ニ伺ヒマスガ、只今ノ「バルプ」工場ニ付キマシテ、三十萬圓以内ナラバ貸付ケテ宜シイ、是ハ普通銀行、ドノ銀行デモ取扱ッテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(人間野武雄君) 御承知ノ通り此ノ臨時資金調整法ニ於キマシテハ、特ニ金融機關ニ對シマシテ自治的調整ノ方法ヲ認メテ居リマス、此ノ方法ハ各國ノ統制法規ノ上ニ於キマシテモ恐ラク新例デハナカラウカト思ッテ居リマス、殊ニ斯ウ云フ非常ノ時ニ際シマシテ、役人バカリガ統制ヲシナケレバナラスト云フヤウナ考ハ私ハ間違ッテ居ルト思ヒマス、從ヒマシテ一般國民ト共ニ此ノ非常時ヲ乗切ル爲ニ、お互ニ同心ヲ御持チニナッテ進ムコトガ必要デハナカラウカト考ヘマス、金融機關ニ對シマシテハ特ニ責任ヲ以テ政府ト同ジ心持デヤッテ貴ヒタイト云フ考カラシテ、自治的調整ノ方法ヲ認メテ居リマス、從ヒマシテ過般御説明申上ゲマシタヤウニ、臨時資金調整法ニ定メテ居リマスル金融機關ノ大部分ト云フモノハ自治的調整ヲ致シテ居リマス

ルカラ、普通銀行ト言ハズ、特別銀行ト言ハズ、或ハ貯蓄銀行ト言ハズ、保險會社ト言ハズ、自治的調整ノ認可ヲ受ケテ居リマスモノハ、全部自治的ニ調整ヲヤリ得ルコトニナッテ居リマス、尙此ノ機會ニ先程藤原サンノ御尋ニ對シマシテ一言附加ヘテ置キタイト思ヒマス「バルプ」ニ付キマシテハ臨時資金調整法ノ上ニ於テ先程私御説明申上ゲマシタ如キ取扱ヲ致シテ居リマス、只今商工省ノ方ノ方カラノ御話デアリマスガ、商工省ト致シマシテハ「バルプ」ニ付キマシテハ既ニ十分デアルト考ヘルノデ、生産設備ノ擴張ハ許サナイ方針デ今居リマストカ言フコトデアリマス

○藤原銀次郎君 政府委員ノ御趣旨ハ能ク分ッテ居ルノデスガ、唯實際問題トシテ商工省ニ於キマシテ「バルプ」ノ會社ヲ新シク拵ヘル、サウシテ又「バルプ」會社ガ増資ヲシテ擴張ヲスル、例ヘバ今迄ハ一萬「トン」ノ工場ヲ、今度ハ増資シテ二萬「トン」ニスルト云フコトハ御許ニナラナイト云フ御方針デアラウト存ジマスガ、又新タニ會社ヲ起シテ「バルプ」ヲ製造シタイト云フヤウナコトモ御許ニナラナイト云フ御方針デアラウト存ジマスガ、ソレハ能ク分ッテ居リマスルガ、例ヘバ今迄八千「トン」ノ「バルプ」ヲ作ッタ工

場ガ改良工事ヲ施シテ九千「トン」ニスル、僅カ五十萬圓カ三十萬圓カケテ八千「トン」作ル工場ヲ九千「トン」ヲ作ルヤウニ設備ヲ改良シヨウト云フ、ソレニ對シテハ三十萬圓、五十萬圓金ガ掛ル、改良工事ヲ施シタイ、斯ウ云フ場合ニモ御許可ニナラナイト云フコトデアルトスレバ非常ニ仕事ニ無理ガ起ッテ來テ、少シ時勢ニ合ハナイ、資金調整法ノ目的ニ副ハナイヤウナ結果ニ陥リハシナイカト思ハレルヤウニナリマスガ、其ノ點ハ如何デセウカ

○政府委員(人間野武雄君) 商工省ノ方デ認メテナイト申シマシタノハ、生産擴張ノ問題デアリマス、從ヒマシテ修繕デアルトカ、或ハ改良デアルトカ、現在能力ノ維持ニ付キマシテ、ドウシテモヤラナケレバナラナイコトニ付キマシテハ場合ニ依ッテ許シテ居リマスヤウデゴザイマス

○委員長(子爵高橋是實君) 私カラチヨット御伺ヒシマスガ、今藤原委員カラ例ヲ擧ゲラレタ製紙ノ方面、是ハ矢張り化學工業ニ屬スルコトデスガ、肥料ナドニ於テモ矢張り同ジヤウナ現象ガ起ルノデアリマシテ、例ヘバ或部分ノ設備ガ毀レテ之ヲ修理シナケレバナラスト云フヤウナ時期ニ到達致シマシタ場合ニ豫テ操作上此ノ部分ハモウ少

シカ、或ハ改良デアルトカ、現在能力ノ維持ニ付キマシテ、ドウシテモヤラナケレバナラナイコトニ付キマシテハ場合ニ依ッテ許シテ居リマスヤウデゴザイマス

○政府委員(人間野武雄君) 紡績會社ニ付キマシテハ大體ノ分類ガ丙ニナッテ居リマスノデ、其ノ改良擴張等ニ付キマシテハ、現在ノ所認メテ居リマセヌ、唯是ガ輸出ヲ非常ニスル爲ニ必要デアル場合ニハ外貨資金獲得ノ上カラ見テ斯クノ如キモノハ便宜ノ取扱ハ致シテ居リマスケレドモ、内地消費

ニ當テル爲ニサウ云フコトヲ致シマスルモノニ付キマシテハ大體認メナイ方針デ居リマス

○中村圓一郎君 チョット只今ノ藤原委員ノ質問ニ關聯シテ簡單ニ伺ヒマスガ、只今ノ「バルプ」工場ニ付キマシテ、三十萬圓以内ナラバ貸付ケテ宜シイ、是ハ普通銀行、ドノ銀行デモ取扱ッテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(人間野武雄君) 御承知ノ通り此ノ臨時資金調整法ニ於キマシテハ、特ニ金融機關ニ對シマシテ自治的調整ノ方法ヲ認メテ居リマス、此ノ方法ハ各國ノ統制法規ノ上ニ於キマシテモ恐ラク新例デハナカラウカト思ッテ居リマス、殊ニ斯ウ云フ非常ノ時ニ際シマシテ、役人バカリガ統制ヲシナケレバナラスト云フヤウナ考ハ私ハ間違ッテ居ルト思ヒマス、從ヒマシテ一般國民ト共ニ此ノ非常時ヲ乗切ル爲ニ、お互ニ同心ヲ御持チニナッテ進ムコトガ必要デハナカラウカト考ヘマス、金融機關ニ對シマシテハ特ニ責任ヲ以テ政府ト同ジ心持デヤッテ貴ヒタイト云フ考カラシテ、自治的調整ノ方法ヲ認メテ居リマス、從ヒマシテ過般御説明申上ゲマシタヤウニ、臨時資金調整法ニ定メテ居リマスル金融機關ノ大部分ト云フモノハ自治的調整ヲ致シテ居リマス

シ「キヤバシティー」ヲ殖ヤサナイト生産ガ  
ウマク行カナイカラ、序ニ之ヲ修理シナケ  
レバナラス、モウ少シ「キヤバシティー」ヲ殖

ヤサウ、サウスレバ全體ノ調和ガ取レルト  
云フヤウナコトガ起ツ場合ニ、是ガ修理ヲ  
申請シマストスルト、今ノ御話デ見マスト、  
オ前ノ所ハ今度申請シテ來タノト殖エテ居  
ルデヤナイカ、元ノ儘ノ修繕ナラ宜イガ、  
斯ウ殖ヤシタノデヤイカヌカラ、是ハ却下  
スルト云フヤウナ御意思ガアルノデスカ、  
其ノ點ガナカ／＼ドウモムツカシイト思  
フ、是ニハッキリ當嵌ラナイ場合デス

○政府委員(入間野武雄君) 肥料ニ付キマ  
シテハ大體種類ニ依リマシテ之ヲ區分致シ  
テ居リマス、譬ヘテ申シマスルナラバ、過  
燐酸石灰ハ丙ニ入ッテ居リマス、硫酸アン  
モニヤハ乙ノロニ入ッテ居リマス、硫酸ハ  
甲ノロニ入ッテ居リマス、硫酸加里ハ乙ノ  
ロニ入ッテ居リマス、石灰窒素ハ乙ノハ  
デアリマス、尙其ノ外ノモノハ大體乙ノハ  
ニ入ッテ居リマス、其ノ外配合肥料ノ如キ  
ハ乙ノロト、斯ウ云フ風ニナッテ居リマシ  
テ、各、其ノ段階ニ依ッテ扱ヒヲ異ニ致シ  
テ居リマス、從ヒマシテ硫酸ノ製造等ニ付  
キマシテハ、或程度ノ擴張モ簡單ニ認メテ  
居リマス、其ノ外乙ノ階級ニ屬シマスル

モノニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤ  
ウニサウ自由ニハ擴張ヲ認メテ居リマセヌ  
次第デゴザイマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 今ノ御説明ノ  
點ハ能ク分ッテ居リマス、只今私ハ肥料ノ例  
ヲ引イタノデアリマスガ、同ジ化學工業中  
デスネ、硫酸ノ製造ト云フ場合デ釜ガイタ  
シダト云フ場合ニ、是ノ修理ニ加ヘテ「キヤ  
バシティー」ヲ殖ヤスト云フヤウナコトヲ  
ヤリマスノハ、是ハ改良ニナリマスカ、擴  
張ニナリマスカ、純然タル修理デナイ場合  
デアリマスナ、サウ云フ場合ガ段々是カラ  
起リハシナイカト思フノデアリマス、サウ  
云フ時ノ御取扱ハナカ／＼面倒デアリマス  
ガ、ドウ云フ風ニ御取扱ニナリマスカ

○政府委員(入間野武雄君) 硫酸ノ製造業  
ハ事業資金調整ノ標準カラ申シマスルト、  
乙ノロニ入ッテ居リマス、從ヒマシテ修理  
ノ程度ハ之ヲ認メマスルケレドモ、擴張ハ  
認メナイ方針ニ致シテ居リマス  
○委員長(子爵高橋是賢君) 私ガ申上ゲタ  
ノハ單純ナル修理デアリマセヌ、ソレニ幾  
分ノ擴張ヲ加味シテ修理ヲ行フト云フ場合  
ノコトヲ御尋ネシタノデアリマス、其ノ場  
合ニ商工省ハ元ノ「キヤバシティー」ノ儘デ  
ヤルナラバ之ヲ許スガ、幾分デモソコニ殖

ヤスト云フヤウナコトガ入ッテ居ッテハ是ハ  
イケナイノデアアル、其ノ場合ガドウモハッキ  
リシナイノデアリマスガ

○政府委員(入間野武雄君) 多少ノコトハ  
ドチラニデモ解釋ガ付コトト思ヒマス、  
要スルニ問題ハ程度ノ問題カト存ジテ居リ  
マス、從ヒマシテ個々ノ場合ニ付キマシテ  
御説明ヲ申上ゲマスルヨリ、チョット言ヒヤ  
ウガナイカト存ジマス

○政府委員(相田岩夫君) 昨日裏松子爵カ  
ラ御尋ガゴザイマシタ政府ノ元利保證アル  
公社債ノ現在額ヲ申上ゲマス、昭和十三年  
十二月末ニ於キマシテ殘高ガ四億四千七百  
四十七萬八千餘圓ニナッテ居リマス、是ハ  
政府ヘ肩替リ分ヲ除キマシタ金額デゴザイ  
マス、此ノ元ノ發行高ハ八億九千二百三  
十七萬餘圓ニ相成ッテ居リマス、尙本年ニ入  
リマシテカラノ政府ノ元利保證ノアル債券  
ノ發行ハ、興業債券ガ六千萬圓、燃料興業  
債券ガ二千萬圓、合計八千萬圓ニナッテ居  
リマス  
○子爵裏松友光君 只今政府委員ノ御説明  
デテ承致シマシタケレドモ、多額ノ公債ガ  
發行サレテ、此ノ公債ノ消化ト云フコトニ  
付テ今全力ヲ擧ゲテ居ラレルヤウニ思フノ  
デアリマス、或ハ貯蓄ノ獎勵ヲスルトカ、

其ノ他有ラユル手段ヲ以テ之ニ當ラレテ居  
ルコトハ、既ニ御承知ノコトドラウト思ヒ  
マス、然ルニ又一方ニ政府保證ノ債券ガ只  
今御説明ノヤウニ巨額ニ出ルト云フコトニ

ナリマス、公債ノ消化ト云フコトニハ非  
常ナ妨害ニナリハシナイドラウト云フ風  
ニ考ヘルノデゴザイマス、一方ニ於テ公債  
ヲ大イニ消化シナケレバナラス、而シテ其  
ノ公債ハ非常ニ多額ニ出シテ居ル、然ルニ拘  
ラズ又他ニ政府保證ノ債券ガ斯ウ云フ風ニ  
澤山出ルト云フコトニナリマス、公債ノ  
消化ト云フコトニ影響ヲ及スコトニナルダ  
ラウト思ヒマス、サウデゴザイマスルカ  
ラ、其ノ點ニ付テハ政府保證ノ債券ヲ發行  
サレル時分ニハ、深甚ナル御注意ヲ一方ニ  
於テサレルト同時ニ、又一方カラ考ヘマス  
ト、政府保證ノ債券ヲ發行スルノハ多ク軍  
需産業トカ云フモノニ向ッテ行クノデヤナ  
カラウカト思フ、サスレバ平和産業ニ於ケ  
ル債券ト云フヤウナモノニモ亦他方ニ於テ  
影響ヲスルコトニナリマスシ、旁、政府保證  
ノ債券ヲ發行スル場合ニハ、十分ニ御注意  
セラレムコトヲ希望致シマス

○政府委員(入間野武雄君) 裏松子爵ノ御  
話ハ御尤デアルト存ジマス、政府保證ヲ付  
ケテ居リマスル債券ノ多クノモノハ、新シ

イ國策會社デアルトカ、或ハ又既ニ相當額ノ社債ヲ發行スルコトヲ認メラレテ居リマサルモノニ、更ニ附加ヘテヨリ多クノ發行限度ヲ與ヘマサル場合トカ、大體サウ云フ場合デゴザイマス、尙之ガ發行ニ當リマシテハ、一面ニ於キマシテハ國債ノ消化ヲ考慮シ、他面ニ於キマシテハ金融市場ノ情勢ヲ考ヘ其ノ發行ニ當リマシテハ、御趣旨ニ副ヒマシテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス

○子爵裏松友光君 臨時資金調整法ニ關スル御質問ガモウナイトスレバ、此ノ位デ質問ヲ打切ッテ、更ニ他ノ議案ニ御進ミニナッテハ如何デスカ

○委員長(子爵高橋是賢君) 如何デゴザイマセウカ、モウ之ニ關スル御質問ハゴザイマセスカ

○藤原銀次郎君 臨時資金調整法ニ付キマシテハ未ダ色々御尋フシタイコトモアリマスケレドモ、併シナガラ要スルニ今日ノ此ノ時局ニ際シテ、臨時資金調整法制定ノ政府ノ御趣旨モ能ク民間ニモ徹底シテ分ッテ居リマスルノデ、時局産業ト申シマスカ、軍需産業ト申シマスカ、此ノ産業ノ爲ニ平和産業ハ若干犠牲ニナッテ、サウシテ此ノ時局ヲ乗り切ッテ行カウト云フコトハ、何人モ認

メテ居ルコトデアリマスカラ、此ノ御趣旨ノ根本ニ對シテハ何人モ之ニ彼此考ヘテ居ル者ハナカラウト思ッテ居リマス、其ノ點ハハモウ明瞭ナコトデアラウト存ジマス、唯問題ハ、民間ノ皆心配シテ居リマスル所ハ、此ノ法ノ施行ニ際シテ、政府ノ御手加減ニ依ッテ營業者ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘタリ、或ハ非常ナ便利ヲ與ヘタリスルト云フヤウナコトニナルノデアリマシテ、恰モ統制法ヲ御實行ニナツタ最初ニ、綿絲トカ「ステープル・ファイバー」トカ云フヤウナモノノ統制ヲ御實行ニナツタ時ニ、各方面ニ非常ナ「ショック」ヲ與ヘ、大キナ問題ヲ惹起シマシテ、漸ク今日ハソレガ鎮靜シタト云フヤウナ狀態デアルコトハ、能ク御承知ノ通りデアリマスガ、此ノ資金調整法ナドニ付キマシテモ矢張り同様デ、チョット政府ノ方ノ御手加減ニ依ッテハ營業者ニ非常ナ「ショック」ヲ與ヘル虞ガアルト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、ドウゾ此ノ資金調整法ヲ御實行ニナルニ際シテ、平和産業ハ犠牲ニナルノハ當リ前ダカラ、モウ愚圖々々色々ナコトヲ言ッテ仕方ガナイト云フヤウナ御考デハ無論オアリニナラナイト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ感じヲ民間ニ與ヘルヤウナ御趣旨デナク、民間ノ實情ニ即シテ、平

和産業ハ若干ノ犠牲ヲ蒙ルコトハ已ムヲ得ナイガ、併シ政府トシテハ平和産業ニモ無益ナ「ショック」ヲ與ヘ、無益ナ損害ヲ與ヘテ、無益ニ苦シメルモノデヤナイ、已ムヲ得ナイカラ涙ヲ吞デ平和産業ハ犠牲ニナッテ貫ヒタイト云フ趣旨デアルト云フヤウナコトヲ、十分ニ民間ニ徹底ノ出來ルヤウナ事務ノ處理方法ヲ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、若シサウ云フ御趣旨ニ依ッテ、サウ云フ御考ニ依ッテ、涙ヲ以テ平和産業ニ御臨ミニナリ、平和産業モ已ムヲ得ズ國家ノ大方針ダカラ犠牲ニナッテ行カウト云フ風ニナツテ參リマシタナラバ、此ノ臨時資金調整法モ非常ニ圓滿ニ實行ガ出來ラウト思ヒマス、デアリマスカラ、貴族院ト致シマシテハ特ニサウ云フコトヲ政府ニ希望ヲ申上ゲテ……無論御異存ノナイコトカト存ジマスガ、御考ヲ煩ハシテ、成ルベク圓滿ニ此ノ資金調整法ノ實行セラレルコトヲ希望致ス次第デアリマス

○政府委員(入岡野武雄君) 只今ノ藤原委員ノ御話ハ誠ニ御同感ノ至リデゴザイマス、過去ニ於キマシテ平和産業ガ非常ニ盛ニナリマシテ、殊ニ我が國輸出ノ上ニ偉大ナ貢獻ヲ致シテ居リマシタコトハ、私共ハ重々承知致シテ居リマス、唯事變ガ斯クノ如ク

ナリマシテ軍需工業ト申シマセウカ、重工業ノ方面ニ於テ非常ニ生産力擴充ノ必要ガアリマスノデ、主力ヲ此ノ點ニ注イデ參リタイト云フ心持ヲ持ッテ居リマスルガ爲、兎角平和産業ノ方ニ窮屈ニナッテ居リマスルコトハ、私共モ誠ニ御同情シテ居ル所デアリ、又一面ニ於キマシテ相濟マナイヤウナ氣モ致シテ居ル次第デアリマス、事ヲ決シマスルニ當リマシテ、同ジ情勢ノ下ニ於キマシテハ、私共常ニソレニ甲乙ヲ附ケル考ヲ持ッテ居リマセス、同ジ心持ヲ以テ公平ニ事ヲ處理シテ行キタイト常ニ念願シテ居リマス、平和産業ニ於キマシテハ殊ニ現下ノ時局ニ於テ、輸出其ノ他ニモ相當貢獻シ、外貨ノ獲得ニ寄ラレテ居リマスルコトハ、私共感謝致シテ居リマス、其ノ意味合カラ見マシテモ、平和産業ガ餘リ犠牲ヲ酷ク拂ハズ、出來ルダケ最小限度ニ其ノ犠牲ヲ拂ッテ、國家ノ伸展ノ爲ニ共ニ進ンデ行クヤウニ致シタイト云フコトハ、私共常ニ念願致シテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ先程來藤原委員ノ仰セニナリマスルコトハ、私共トシテモ常ニサウ思ッテ居ル所デゴザイマスルカラ、將來ハ此ノ方面ニ於キマシテ出來ルダケ其ノ犠牲ヲ少ナカラシメルコトニ努力致シタイト存ジテ居リマス

ナリマシテ軍需工業ト申シマセウカ、重工業ノ方面ニ於テ非常ニ生産力擴充ノ必要ガアリマスノデ、主力ヲ此ノ點ニ注イデ參リタイト云フ心持ヲ持ッテ居リマスルガ爲、兎角平和産業ノ方ニ窮屈ニナッテ居リマスルコトハ、私共モ誠ニ御同情シテ居ル所デアリ、又一面ニ於キマシテ相濟マナイヤウナ氣モ致シテ居ル次第デアリマス、事ヲ決シマスルニ當リマシテ、同ジ情勢ノ下ニ於キマシテハ、私共常ニソレニ甲乙ヲ附ケル考ヲ持ッテ居リマセス、同ジ心持ヲ以テ公平ニ事ヲ處理シテ行キタイト常ニ念願シテ居リマス、平和産業ニ於キマシテハ殊ニ現下ノ時局ニ於テ、輸出其ノ他ニモ相當貢獻シ、外貨ノ獲得ニ寄ラレテ居リマスルコトハ、私共感謝致シテ居リマス、其ノ意味合カラ見マシテモ、平和産業ガ餘リ犠牲ヲ酷ク拂ハズ、出來ルダケ最小限度ニ其ノ犠牲ヲ拂ッテ、國家ノ伸展ノ爲ニ共ニ進ンデ行クヤウニ致シタイト云フコトハ、私共常ニ念願致シテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ先程來藤原委員ノ仰セニナリマスルコトハ、私共トシテモ常ニサウ思ッテ居ル所デゴザイマスルカラ、將來ハ此ノ方面ニ於キマシテ出來ルダケ其ノ犠牲ヲ少ナカラシメルコトニ努力致シタイト存ジテ居リマス

ナリマシテ軍需工業ト申シマセウカ、重工業ノ方面ニ於テ非常ニ生産力擴充ノ必要ガアリマスノデ、主力ヲ此ノ點ニ注イデ參リタイト云フ心持ヲ持ッテ居リマスルガ爲、兎角平和産業ノ方ニ窮屈ニナッテ居リマスルコトハ、私共モ誠ニ御同情シテ居ル所デアリ、又一面ニ於キマシテ相濟マナイヤウナ氣モ致シテ居ル次第デアリマス、事ヲ決シマスルニ當リマシテ、同ジ情勢ノ下ニ於キマシテハ、私共常ニソレニ甲乙ヲ附ケル考ヲ持ッテ居リマセス、同ジ心持ヲ以テ公平ニ事ヲ處理シテ行キタイト常ニ念願シテ居リマス、平和産業ニ於キマシテハ殊ニ現下ノ時局ニ於テ、輸出其ノ他ニモ相當貢獻シ、外貨ノ獲得ニ寄ラレテ居リマスルコトハ、私共感謝致シテ居リマス、其ノ意味合カラ見マシテモ、平和産業ガ餘リ犠牲ヲ酷ク拂ハズ、出來ルダケ最小限度ニ其ノ犠牲ヲ拂ッテ、國家ノ伸展ノ爲ニ共ニ進ンデ行クヤウニ致シタイト云フコトハ、私共常ニ念願致シテ居ル次第デアリマス、從ヒマシテ先程來藤原委員ノ仰セニナリマスルコトハ、私共トシテモ常ニサウ思ッテ居ル所デゴザイマスルカラ、將來ハ此ノ方面ニ於キマシテ出來ルダケ其ノ犠牲ヲ少ナカラシメルコトニ努力致シタイト存ジテ居リマス

○藤原銀次郎君 只今ノ政府委員ノ御答辯

ニ對シテハ、私共ハ滿腔ノ賛意ヲ表シテ大  
イニ感謝致シマス次第アリマス、ドウゾ  
サウ云フ思召ヲ以テ此ノ資金調整法ヲ御實  
行下サイマシテ、サウシテ出來ルダケ摩擦  
不平ノヤウナ聲ヲ聞カナイヤウニシテ、此  
ノ時局ヲ平和産業ニ從事シテ居ル人モ喜ン  
デ乘リ切ルヤウニ、國家ノ爲ニ努力スルヤ  
ウニ、官民共歩調ヲ併セテ進ミタイト思ヒ  
マス、之ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 是デ休憩致シ  
マス、午後一時半カラ會議ヲ開クコトニ致  
シマス

午前十一時五十三分休憩

午後一時五十六分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 是ヨリ午前ニ  
引續キ會議ヲ開キマス、臨時資金調整法中  
改正法律案ニ付テハアラマシ委員諸氏ノ御  
質問モ盡キタカト思フノデゴザイマスガ、  
外ニドナタカ御質問ガゴザイマスレバ御願  
ヲ致シマス……御質問モナイヤウデゴザイ  
マスカラ、政府委員ノ方カラ國債整理基金  
特別會計法ニ付テノ西野サンノ先達テノ御  
質問ニ對シテ今御答辯ガアルサウデアリマ  
スカラ、之ヲ御許シ致シマス

○政府委員(相田岩夫君) 昨日西野サンカ

ラ國債整理基金特別會計法中改正法律案ニ  
付キマシテ御尋ノアリマシタ點ニ付キマシ  
テ改メテ御答辯ヲ申上ゲマス、改正法案ニ  
依リマシテ、新タニ國債整理基金特別會計  
法ノ第二條第三項トシテ挿入セラレマス項  
ガアリマシテ、現在ノ第三項ハ從テ第四項  
ニナル譯デアリマスルガ、其ノ現在ノ第三  
項ガ、改正ニ依リマシテ第四項ニナリマス  
項ノ中ニ前項トアリマスノヲ、前二項ト改  
メルコトニシテ居ルノハ、是ハ第二項ト改  
ムベキデハナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイ  
マシタ、詰リ新タニ挿入サレマスル第三項  
ノ規定ハ、第二項ノ規定ニ係ル國債總額ノ  
計算ニ當リマシテ、割引國債ニ付テハ發行  
價格ヲ以テ額面金額ト看做スト云フコトヲ  
規定スルニ止マルノデアリマスルカラ、既  
ニ第二項中ノ國債總額中カラ短期國債等ヲ  
除外セラレマシタ以上、新タニ挿入サレル  
第三項中ノ國債總額ニ付テ、短期國債等ヲ  
含ムカドウカト云フ疑問ヲ生ズル餘地ハナ  
イデハナイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマス、  
之ヲ最モ專門的ニ、理論的ニ見マスレバ西野  
サンノ御趣旨ノ通りデゴザイマシテ、前二項  
ヲ第二項ト改ムルコトニ依リマシテ、此ノ改  
正ノ目的ハ達セラレルノデゴザイマス、唯法  
律ハ規定ノ趣旨ヲ一般ニ明瞭ナラシムル趣

旨ヲ以チマシテ、注意的規定ヲ致ス場合ガ  
屢、ゴザイマスノデ、本件ノ場合モ矢張り  
サウ云フ意味ヲ以チマシテ之ヲ改正案ノ如  
ク規定致シタノデゴザイマス、若シ前二項  
ヲ第二項ト改メマシテ、第二項中ノ國債總  
額ノミニ付テ短期國債等ヲ除外スルコトト  
致シマスレバ、新タニ挿入セラル、コトニ  
ナリマス第三項ニ依リマシテ、割引國債ニ  
付テハ元金、償還金ノ繰入方法ヲ別個ニス  
ルト云フ趣旨ノ規定ヲ設ケマシタ爲ニ、此  
ノ新シイ第三項ト第四項ニナリマス規定ト  
ヲ並ベテ讀ミマス場合ニ、短期ノ國債ノ中  
デ割引ノ方法ニ依リマシタモノハ或ハ第三  
項ノ國債額ノ中ニ含マレルモノデハナイ  
カ、ドウデアアラウカト云フ疑問ヲ生ジマス  
ル餘地ガ全然ナイト言フコトモ出來兼ネル  
ヤウニ考ヘマシテ、ソレデ此ノ關係ヲ明ニ  
シテ此ノ種ノ疑問ノ餘地ヲナカラシムルト  
云フ爲ニ、マア念ノ爲ニ前二項ト斯ウ改ム  
ルコトニ致シタノデゴザイマス、左様御諒  
承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西野元君 私ノ前會ニ伺ヒマシタ國債整  
理基金特別會計法中改正法律案ノ條文ノ規  
定方ニ付キマシテ、只今政府委員ヨリ重ネ  
テ御説明ガアリマシテ、御趣意ハ了承致シ  
マシタ、政府ノ如何ナル見解ニ依ッテ斯ウ云  
フ風ナ規定ノ方法ヲ採ラレタカト云フコト  
ハ、只今ノ御説明ニ於テ御意見ノアル所ハ  
能ク分リマシタ、私ハ只今ノ御説明ニ拘ハ  
ラズ尙御提出ノ條文ハ、用語ハ餘リ妥當ナ  
用語デナイヤウニ存ジマスケレドモ、ソレ  
ハ意見ノ相違デアリマシテ、私ノ御尋ネ致  
シマシタ趣旨ハ分リマシタガ、質問ノ要點  
ニ付キマシテハ、御説明ヲ承リマシテ了承  
致シマシタ

○子爵松友光君 私ハ國債ニ付テ御質問  
ヲ委員諸氏カラ御願ヒシテ此ノ質問モ大體  
ナイヤウデアリマシタラ今朝本會議ニ上程  
セラレマシテ本委員會ニ付託サレマシタハ  
件ノ法律案ニ付テ政府當局ノ御説明ヲ御願  
ヒスルヤウニ致シテハ如何デアリマセウカ

○委員長(子爵高橋是賢君) 格別此ノ法案  
ニ付テ御質疑ガゴザイマセウカ……  
ゴザイマセウカレバ只今ノ裏松子爵ノ御意  
見ノヤウニ取計ラヒマシテ今朝併託ニナリ  
マシタル法案八件ニ付テ政府當局ノ御説明  
ヲ一應伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 本委員會ニ付託  
セラレマシタル昭和十三年法律第六十四號  
中改正法律案外七法律案提出ノ理由ハ本會  
議ニ於テ説明致シマシタ通りデアリマスガ、  
茲ニ改メテ御説明申上ゲマス、先ヅ兌換銀



行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、支那事變勃發以來軍需ノ急増ニ依リマシテ一般經濟活動ハ急激ナル膨脹ヲ來シ、之ニ伴ヒマシテ、兌換銀行券ノ發行高モ増加シ、屢、制限外發行ノ出現ヲ見ルニ至リマシタノデ昨年四月政府ハ、兌換銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律ヲ施行シ、兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ當分ノ内十七億圓ト致シタノデアリマス、然ルニ其ノ後ノ經過ヲ見マスルノニ、事變ノ進展ト共ニ一般經濟取引ノ膨脹ニ依ッテ兌換銀行券ノ發行高ハ依然増加シテ參ツタノデアリマシテ、其ノ平均發行高ニ於キマシテモ昭和十三年ハ前年ニ比シ三億八千四百萬圓、三億八千四百萬圓ヲ増加シテ十九億一千九百萬圓ト相成ツタノデアリマス、又昨年七月ニハ日本銀行ノ正貨準備ヨリ二億圓ヲ割キ新タニ外國爲替基金ヲ設定致シタ結果トシテ、右臨時擴張ノ效果ハ同金額タケ減殺サレタ關係モアリマシテ、昨年十一月以降ニハ屢、制限外發行ヲ見ルニ至ツタノデアリマス、而シテ今後ニ於ケル兌換銀行券發行高ノ趨勢ヲ推測致シマスルニ、事變ニ關聯シテ諸般ノ經濟活動ハ依然伸張ヲ續ケ、之ニ伴ヒマシテ通貨ノ所要量モ増大シ、

延イテハ兌換銀行券ノ發行高モ尙増加スルモノト考ヘラレルノデアリマス、斯カル次第デアリマスカラ、此ノ際曩ニ臨時ニ擴張セラレマシタ兌換銀行券ノ保證發行限度ヲ更ニ五億圓擴張シテ之ヲ二十二億圓ト爲シ、以テ通貨ノ供給ヲ圓滑ナラシメ、金融ノ疏通ト財政ノ運営ニ支障ナカラシメ、併セテ制限外發行ノ頻發ニ伴フ無用ノ刺戟ヲ除去スルコトヲ必要ト認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ニ朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ臨時擴張ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ハ曩ニ昭和十二年九月、之ヲソレト一億圓及五千萬圓ニ擴張致シタノデアリマスガ、爾來支那事變ノ進展ニ依ッテ朝鮮及臺灣ニ於ケル一般經濟取引ハ急激ナル増大ヲ來シ、之ニ伴ッテ朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ發行高ハ顯著ナル増加ヲ示スニ至ツタノデアリマス、即チ兩銀行券ノ昭和十三年中平均發行高ハ各、二億六千四百餘萬圓及一億一千餘萬圓デアリマシテ、之ヲ支那事變勃發直前ノ一年間ノ平均發行高ニ比較致シマスル時ハ、各、九千八百餘萬圓及四千餘萬圓ノ著シキ増加ヲ來シタノデアリマシテ、兩銀行券トモ一昨年末以降大體毎

月制限外發行ノ現出ヲ見テ居ルノデアリマス、而シテ今後ニ於テモ支那事變ニ關聯シテ、朝鮮及臺灣ニ於ケル諸般ノ經濟取引ハ、益、増大ヲ續ケ、之ニ伴ッテ兩地ニ於ケル通貨ノ需要量モ更ニ増大シ、延ヒテハ朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ發行高モ一層増加ヲ來スモノト認メラレルノデアリマス、斯様ナ兩銀行券ノ發行高増加ノ趨勢ニ對シマシテハ、兩銀行券ノ支拂準備ノ充實ニ依リマシテ、或程度迄ハ對處シ得ルト致シマシテモ、尙其ノ保證發行高ハ今後著シク増加スルモノト認メラレルノデアリマシテ、兩銀行券ノ保證發行限度ヲ、現在ノ儘ニ致シテ置キマスル時ハ、今後愈、制限外發行ノ頻出ヲ見ルニ至ルモノト認メラレ、斯クテハ朝鮮及臺灣ニ於ケル經濟取引上必要トセラレル通貨ヲ圓滑ニ供給致シマスル上ニ、支障ヲ生ズルコトナキヲ保シ難イノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスノデ、朝鮮及臺灣ノ經濟界ノ推移竝ニ朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ發行狀況等ヲ考慮シテ、支那事變ニ關聯スル臨時的措置トシテ、兩銀行券ノ保證發行限度ヲ各、六千萬圓及三千萬圓ヲ擴張シ、ソレト一億六千萬圓及八千萬圓トスルヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シタノデアリマス、次ニ昭和十三年法

律第二十三號中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、一般會計ニ於キマシテハ、臨時軍事實費ノ一部ニ充テマスル爲、今回再ビ租税ノ増徴、新税ノ創設等ヲ行フコトト致シマシテ、目下衆議院ニ於テ審議中デアリマシガ、關東、朝鮮、臺灣及ビ樺太ニ於キマシテモ内地ニ於ケルト同様ノ趣旨ノ下ニ、概ネ之ニ準ジマシテ、清涼飲料税、砂糖消費税、出港税、印紙税、臨時利得税、利益配當税、公債及ビ社債利子税、又ハ物品税ヲ増徴スルト共ニ、物品税ノ課税範圍ヲ擴張シ、建築税、遊興飲食税、又ハ遊興稅ヲ創設スルコトト相成リマシテ、其ノ收入額ノ一部ニ相當スル金額ハ、之ヲ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ、外地特別會計ヨリ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトト致シマシタル處、是ガ會計上ノ處理ニ關シマシテハ、昭和十三年法律第二十三號中改正ヲ必要ト致シマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、支那事變ニ關スル經費ニ付キマシテハ、第七十一回、第七十二回及ビ第七十三回ノ各帝國議會ノ協賛ヲ經マシテ、其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスガ、事態ノ推移ニ伴ヒマシ



テ、更ニ臨時軍事費四十六億五百萬圓ノ追加計上ヲ必要ト致シマスル處、其ノ所要財源中六億八千九百餘萬圓ニ付キマシテハ、一般會計及ビ各特別會計ヨリノ繰入金、軍事費獻納金等ヲ以テ充當シ、三十九億二千四百餘萬圓ニ付キマシテハ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマスル爲、昭和十二年法律第八十四號中ノ公債發行限度ヲ増額スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、次ニ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、昭和十四年度歳入歳出總豫算ニ伴フ一般會計歳入不足ノ補填ニ付キマシテハ、既ニ法律案ヲ今期議會ニ提出シテアリマスガ、今回別途提出致シマシタル同年歳入歳出總豫算追加第一號ニ計上セル經費ノ所要財源其ノ總額九億千五百餘萬圓ノ内増稅其ノ他ノ普通歳入ヲ以テ充當スベキ分一億八千二百四十餘萬圓ト、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲ノ公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當スベキ分三億六千四百七十餘萬圓トヲ差引キタル殘額、即チ三億六千三百二十餘萬圓ハ今日ノ場合之ヲ公債ニ依ルノ外アリマセヌノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第アリマス、尙本法律案ハ前述ノ如ク總豫算ニ伴フ歳入補填公債法案

ガ目下御審議中ナルニ願ミマシテ、別ノ法律案ト致シマシタ次第アリマス、次ニ昭和七年法律第一號中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、滿洲事件ニ關スル經費ニ關シマシテハ其ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行ニ付、第六十一回帝國議會ノ協賛ヲ經テ制定セラレ、其ノ後七回ニ互リ改正セラレマシタ現行ノ昭和七年法律第一號ニ依リ、昭和十三年度迄ノ當該經費ノ財源トシテ總額十三億八千五百萬圓ヲ起債シ得ルコトト相成ッテ居リマスルケレドモ、昭和十四年度一般會計ニ於テ、滿洲事件費トシテ引續キ必要ナル金額三億六千九百十餘萬圓ノ内關東軍宿舍整備ニ要スル營繕費ノ財源トシテ、國有財産整理資金特別會計ヨリ一般會計ニ繰入ル、金額四百三十餘萬圓ヲ差引キマシタル殘額ノ三億六千四百七十餘萬圓ニ付キマシテハ、今日ノ財政狀況竝ニ本經費ノ性質ニ顧ミマシテ、從來ノ如ク之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、昭和十二年度ニ於ケル滿洲事件費ニシテ、公債財源ニ依ルベキ豫定ナリシ分中、決算上不用トナリタル金額等ガ千七百十餘萬圓アリマスル爲、差引三億四千七百六十餘萬圓ダケ前述ノ昭和七年法律第一號ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増額シ、十七億三千二百六十萬圓トス

ルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、次ニ支那事變ニ關スル特別賜金トシテ交付スル爲、公債發行ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、支那事變ニ從軍シ名譽アル戦死ヲ遂ゲラレマシタル陸海軍軍人軍屬等ノ遺族ニ對シ賜與セラレマスル所ノ特別賜金ニ付キマシテハ、其ノ實施初期ノ間ニ於テハ現金ヲ以テ交付致シ、昭和十三年八月以降ニ於テハ當該豫算ヲ以テ大藏省預金部、又ハ日本銀行ヨリ買上ゲマシタル公債ヲ以テ交付致シテ參リマシタガ、右ハ諸般ノ事情ヨリ考察致シマシテ、寧ロ交付公債發行方法ニ依ルノヲ適當ト認メマシタル處、之ガ爲ニハ公債發行ニ關スル法律ノ制定ヲ必要ト致シマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、終リニ昭和十三年法律第八十七號中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、本邦内ニ於テ募集シタル外國債ニ關シマシテハ、昨年ノ議會デ御協賛ヲ經マシタ昭和十三年法律第八十七號ニ依リマシテ命令ヲ以テ定メタル一定ノ外國債ニ限リマシテ、租稅ノ賦課又ハ納稅ノ擔保ニ關シテノミ、國債ト同様ノ待遇ヲ與フルコトト相成ッテ居ルノデアリマスルガ、爾今右待遇ノ範圍ヲ租稅ノ賦課又ハ納稅ノ擔保ノ場合ノミニ限ルコトナ

ク、廣ク政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ノ總テノ場合ニ於キマシテモ、國債ト同様ノ待遇ヲ與ヘマスルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、以上八件ニ付キマシテ何卒御協賛ヲ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 是ハ今日併託ニナリマシタバカリデ、マダ皆サンガ御目通シガナイト思ヒマスガ、何カ之ニ關聯シテ此ノ席デ御質問ガゴザイマシタラ御願ヒ致シマス

○子爵裏松友光君 私二三伺ッテ見タイ、委員長ニ伺ヒマスガ、ドノ件デモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵高橋是賢君) ドレデモ結構デス

○子爵裏松友光君 朝鮮銀行券、臺灣銀行券ニ關スル法律案ノ中、附則ニ、「本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス」ト云フコトガゴザイマスガ、ソレニ付テ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 只今附則ニ付キマシテ裏松子爵カラ御尋ガゴザイマシタガ、事變以來兌換銀行券、朝鮮銀行券及ビ臺灣銀行券ナドガ膨脹致シテ參リマシタ、此ノ事實ニ對處シテ此ノ臨時立法ヲ致ス次

第デアリマス、從ヒマシテ事變關係ノ多クノ法律案ノ中ニ、譬ヘテ申シマスレバ、今朝程來御審議ヲ願ッテ居リマス臨時資金調

整法及ビ只今御審議願ッテ居リマス昭和十三年法律第六十四號中改正法律案等ニ於キマ

シテモ、其ノ附則ニ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノト云フコトヲ規定

致シテ居リマス、其ノ例ニ倣ヒマシテ此ノ朝鮮銀行券及臺灣銀行券ノ保證發行限度ノ

臨時擴張ニ關スル法律案ニ付キマシテモ同様ノ附則ヲ置キマシテ次第デゴザイマス、

然ラバ支那事變ガ終了シタナラバサウ云フ必要ガナクナルカドウカト云フ問題デアリ

マスガ、支那事變ガ終了シテ見マセヌケレバ其ノ時ノ情勢ガ分ラヌト思ヒマス、實際

ニハ通貨等モ收縮スルヤウナコトガアレバ結構デアリマス、若シ矢張り通貨ガ收縮シ

ナイデ現在ノ儘デアリマスナラバ、新タニ兌換銀行券條例ヲ改正ラシマスナリ、朝鮮

銀行法若シクハ臺灣銀行法ノ改正ヲ致シマスナリ、更ニ或ハ此ノ法律ヲ暫ク御延期願

ヒマスナリ、適當ノ方法ヲ講ジテ對處致シタイト存ジテ居リマス、從ヒマシテ一年ト

致シマシタコトハ、支那事變ガ何時終ルカモ分リマセヌノデ、其ノ間ニ議會ノ開カレ

ルコトヲ豫想致シマシテ、一年ノ餘裕ヲ見

テ置ケバ十分デナカラウカト斯ウ考ヘマシテ、斯クノ如キ附則ヲ設ケマシタ次第デアリマス

○子爵松友光君 只今政府委員ノ御説明デ大體了承致シマシタガ、他ノ問題ニ付テ

御質問致シタイノデアリマス、ソレハ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ニ關係

スルコトデアリマス、外地關係ノ問題デアリマスガ、例ヘバ朝鮮トカ臺灣トカ樺太ト

カ云フ外地カラ、特別會計カラ從來臨時軍事費ノ方ヘ相當多額ノ流用ヲシテ居ルコト

ハモウ既ニ御承知ノコトデアリマスガ、其ノ中ニ於テ殊ニ稅ダケヲ斯ウ云フ風ニ御書

キニナツテ、是ダケハ臨時軍事費ノ特別會計ニ入レルト云フコトニナスツク趣旨ガ、一般

的ノ繰入ヲシテ居ル以外ニ斯ウ云フモノガアルト云フコトハドウ云フ譯デアリマセウ

カ、此ノ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 實ハ此ノ點私主管致シテ居リマセヌノデ、ハッキリハ致シ

マセヌノデアリマスガ、確カ今回衆議院デ御審議願ッテ居リマス内地ノ増稅案ニ關聯

致シマシテ、外地ニ於キマシテモ、之ニ伴ッテ增稅ヲスルヤニ承ッテ居リマス、ソレニ依ッ

テ增收ヲ來シマシタモノヲ繰入レヨウト斯ウ云フコトデハナイカト思ヒマス、ハッキリ

シタ記憶デヤナイカモ知レマセヌガ、一應御答ヲシテ置キマシテ、若シ又違ヒマシタナラバ、明日デモ改メテ訂正サシテ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 今一應御答ヘ申上ゲマシタガ、大體今度ノ增稅ハ臨時軍事

費ニ繰入レテ居ル、ソコデ外地ノモノモ同ジヤウナ趣旨ヲ以テ臨時軍事費ニ繰入レタ

イト考ヘテ居リマス、サウシマス、是ハ矢張り特別會計ニシテ、斯ウ云フ特殊ナ

目的ヲ以テ增稅致シマシタモノデアリマスカラ、ソコデサウ云フ趣旨ヲ以テ特別會計

ヲ設定シテサウシテ大體趣旨ヲ明カニシタイト斯ウ云フノデアリマス、ト云フノハ物

品稅ナド色々議論ガアリマスガ、今度ノ物品稅ハ事變ニ關聯シテ物品稅ヲ課スルノデ、

極端ニ申シマスレバ消費節約、消費ノ抑制ト云フ特殊ノ趣旨ヲ持ッテ居リマス、普通ノ

場合物品稅ヲ課稅致シマシタノト趣旨ニ於テ趣旨異ッテ居ルノデアリマス、ソナ趣旨

カラ内地デ其ノ趣旨ヲ明カニシマシタモノデアリマセウ、外地ニ於テモ同様ナ趣旨ヲ

徹底サスト云フコトデ斯様ナ特別法規ヲ御願ヒスルコトトナツタ次第デアリマス

○子爵松友光君 昭和十三年法律第八十七號中改正法律案ニ付キマシテ外國債ニ對

シテ國債ト同様ノ待遇ヲ與ヘル範圍ヲ擴張スル件ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ外國債ト云フノハ例ヘバ滿洲國債ヲ意味

シテ居ルノダラウト思ヒマスガ、ソレニ付テ「政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保」ト云

フ風ニ改メテ殆ド外國債ト同様ナ待遇ニナルノデスガ、斯ウ云フ風ニスルト云フコト

ハ豫テ私モ考ヘテ居リマスガ、公債ノ消化トカ何トカト云フ所ニ關聯ヲシテ居ル問題

ダシ、滿洲國債ヲ斯ウ云フ風ニ待遇スルト云フコトハドンナモノデゴザイマセウカ、

其ノ點ニ付テ一ツ御意見ヲ伺ヒタイノデゴザイマスガ

○政府委員(入間野武雄君) チョット速記ヲ止メテ戴キタイト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ止メテ……

午後二時三十一分速記中止

午後三時九分速記開始

○委員長(子爵高橋是賢君) 速記ヲ始メテ、今日ハ是デ終リマシテ明日午前十時ヨリ會議ヲ開クコトニ致シマス、今日ハ之デ散會致シマス

午後三時十分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高橋 是賢君

副委員長 男爵深尾隆太郎君

委員

公爵島津 忠承君

侯爵筑波 藤麿君

伯爵橋本 實斐君

子爵裏松 友光君

小幡 西吉君

男爵伊江 朝助君

河田 烈君

西野 元君

中村圓一郎君

磯貝 浩君

藤原銀次郎君

野村茂久馬君

政府委員

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省主計局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

預金部資金局長 廣瀬 豐作君

昭和十四年三月十八日印刷

昭和十四年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局